南アルプスにおけるタカネキマダラセセリの再発見

伊　藤　亮[1)]

Second Record of *Carterocephalus palaemon satakei* MATSUMURA in the southern part of the Japan Alps.

By AKIRA ITO

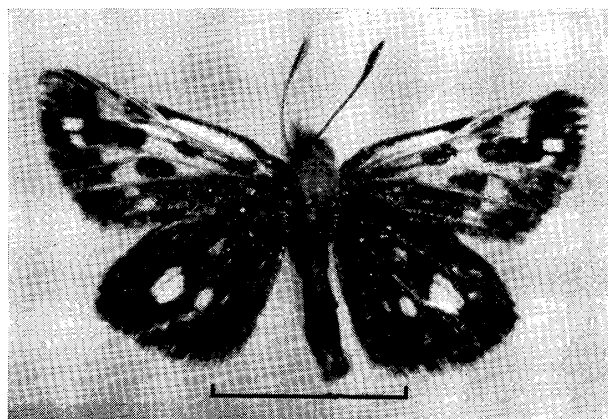
タカネキマダラセセリは南アルプス地域では甲斐駒ケ岳と仙丈岳の中間，野呂川上流の北沢(2000m)で桝田長氏によって1932年7月27日に1頭採集されたのが唯一の記録であって，その後現在まで再び発見されることがなかったので南アルプスにこの蝶が実際に生息しているかどうかについては疑問視されてきた．ところが1963年8月3日，仙丈岳馬ノ背ヒュッテ付近（2700m）のお花畑で私は偶然にも，この珍蝶1頭を採集することができた．更に同日，本種の5令幼虫3頭を発見することができた．次に採集時の状況を報告する次第である．なおその他のチョウの採集状況も何らかの御参考になればと思い，共に記しておいた．

8月2日　晴

ここ10日間のうちで一番よい天気であった．ヒュッテ周辺には一面に高山植物が咲きみだれていて採集には好都合であった．

待望のクモマベニヒカゲは7時前にお花畑に現われた．12時までの間にミヤマアキノキリンソウやシシウドの花におとずれたクモマベニヒカゲ，コヒオドシ，エルタテハ，キアゲハ（春型），アサギマダラ，モンキチョウ，スジグロシロチョウをネットに入れることができた．1時頃ふと道ばたのハタザオの1種（種名は確認していない）の花の方を見ると，そこから1頭の小さな白蝶がとびたった．鮮かな橙色の斑のあるクモマツマキチョウであった．しばらくの間，付近一帯を探してみたが結局♂1頭でおわってしまった．同夜は宿泊者が多かった．

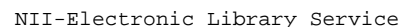
8月3日　晴

8時に馬ノ背6，7合目(2600～2700m)のお花畑に出かけた．そこでクモマベニヒカゲ，コヒオドシ，クジャクチョウ，アカタテハ，アサギマダラ，ミヤマカラ

スアゲハ，それに羽化して間もないベニヒカゲを採集した．しかし，これらの蝶を採集できたのは8時半から9時半過ぎまでの約1時間であり，10時過ぎには雲で日光がさえぎられ蝶は1頭も現われなくなった．ヒュッテに引き返す途中で再び陽がさしはじめた．11時頃ヒュッテわきまでおりてくると，道ばたの草の上をハエの1種といっしょにグルグル同じ所を小さく旋回していたセセリチョウに気づいた．ネットに容易に入れることができた．ネットから取り出して見ると，なんとそれはタカネキマダラセセリだった，ヒュッテで昼食を食べてから，天候が悪化しないうちにと思ってすぐ採集することにした．ヒュッテから距離にして20mとおりないところに小さな空地があった．（藪沢とヒュッテの中間）

この場所は自分の行動範囲内では一番蝶の採集に適していた．ここで待つだけで1日に30頭以上のクモマベニヒカゲを採集するのもそうむずかしくはないと思う．私も昨日ここで5頭のクモマベニヒカゲをとった．

さて，この空地でクモマベニヒカゲやエルタテハを採集していたら偶然に，自分のネットにタカネキマダ

1)　宮城県仙台市新弓ノ町2

ラセセリの５令幼虫：すなわち美しい緑色の２cmちょっとの幼虫がくっついていた．この日いっしょになった大学生も同時刻（私より少しあと）にほぼ同じ場所でネットの中にこれを見い出していた．１時頃に成虫を発見した場所の近くで又別の幼虫１頭が自分のネットにすいついていた．しかしこの頃から空はにわかに曇り，続いて親指の爪ほどの大きさの雹が降り出し昨夜までと同様に雷も近くに落ちつづけた．雹は豪雨となった．あとで小屋番の方にタカネキマダラセセリの食草イワガリヤスの写真を見せてもらい，天気が回復してから食草の分布状態などを調べようと考えていたが遭難者がでて（無事救助された）翌日は，未明の

うちに下山することになった．今考えると3日の日もう少しがんばって調査しておけばよかったと思う．

今度の採集ではベニヒカゲは3頭しか発見できなかったが，時期的には8月10日頃からが一番よいのではないだろうか．クモマベニヒカゲの発生状態から，ベニヒカゲもかなり多く発生するものと思われる．またこの辺一帯では日が少しかげるとヒメキシタヒトリが相当数飛ぶのが見られた（8月1，2，3日に観察した）．またトホシハナカミキリなどのハナカミキリ類やシラフヒゲナガカミキリも多かった．

仙丈岳の5万分の1の地図に示した部分はすばらしいお花畑で絶好の採集地域である．斜線の部分はドロの木の生育地である．従ってオオイチモンジが多い．×の位置がタカネキマダラセセリの成虫の採集地でありその周辺で5令幼虫を発見したのである．

今度の採集で発見できた高山蝶はつぎの7種である．タカネキマダラセセリ（終令幼虫を含む），クモマツマキチョウ，クモマベニヒカゲ，ベニヒカゲ，コヒオドシ，オオイチモンジ，ミヤマシロチョウ？その他の蝶も含めると37種の蝶を採集あるいは発見したことになる．

後記

クモマツマキチョウとタカネキマダラセセリをネットに入れた時の喜び，更に，帰宅後後者が南アルプスで2頭目の記録であるのを知った時の喜びは今夏の忘れえぬ感激の記録である．このように成果があがったのも実に丹溪山荘，馬ノ背ヒュッテの経営者，上島家の皆様のおかげである．帰宅後，東北大学理学部・加藤陸奥雄教授にタカネキマダラセセリ（*Carterocephalus palaemon satakei* MATSUMURA）を確認していただき，それに先生の貴重な諸文献も参考にさせていただいた．更に九州大学教養部・白水隆教授は私の報告に対して御親切な御指導をしてくださり「蝶と蛾」への寄稿もお勧めくださった．両先生に厚く御礼申し上げます．

参考文献

桝田長 1932 タカネキマダラセセリを南アルプス北沢に採集す．Zephyrus 4(2/3)：216.

桝田長 1934 南アルプスに於ける蝶類 昆虫 8(3)：153—180, 8(4)：243—265.

田淵行男 1959 高山蝶，73,169,173, 255—256, 301—302.

白水隆 1959 原色昆虫大図鑑 I

白水隆 1958 日本産蝶類分布表

白水隆・原章 1960 原色日本蝶類幼虫大図鑑 I

白水隆・原章 1962 原色日本蝶類幼虫大図鑑 II

横山光夫 1956 原色日本蝶類図鑑

Summary

The first record of *Carterocephalus palaemon satakei* MATSUMURA in the southern part of the Japan Alps was reported by MASUDA in 1932. In about thirty years after this record no one recorded this butterfly from the same locality.

On August 3rd, 1963, the author captured a male adult and three of 5th instar larvae at Umanose (2,700m), Mt. Senjō.

昨年の蝶採集記録

久川 健[1)]

Some Records of Lycaenid butterflies in 1963

By TAKESHI HISAKAWA

1. 岩木山麓(青森県)でウラナミシジミ *Lampides boeticus* を採集する．

8月上旬から10月下旬まで2ケ月間，岩木山麓開拓事業に参加していた際，余暇の採集時に遭遇したものである．

採集頭数：2頭（新鮮）

採集場所：岩木山麓（モデル酪農場右手上方，終戦直後入植者のアズキ畠）

採集年月日：昭和38年8月26日

採集した場所は，南に面した日溜りのアズキ畠で，5，6頭を目撃し，2頭をネットに収めたが，何れも羽化後間のない新鮮個体であった．どんなルートで偶産したのか或は土着しているのか，興味ある記録かと思われる．岩木山近郷者の詳細な調査，報告を期待したいところである．

2. ウラキンシジミ *Ussuriana stygiana* を多収穫

採集頭数：8頭（新鮮）

1) 大阪市北区梅ケ枝町71 ヤノシゲビル 農地開発機械公団関西支所